

## 平成 26 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 26 年 6 月 2 日

学 長 殿

所属部局・職名 行政政策学類 特任教授

申 請 者 名 新谷 崇一

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学会等</span> ) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	日本芝草学会 2014 年度春季大会
事業実施期間	平成 26 年 5 月 31 日～ 平成 26 年 6 月 1 日
成果の概要	<p>平成 26 年 5 月 31 日 (土) と 6 月 1 日 (日) の 2 日間、日本芝草学会春季大会が福島大学を会場に実施され、全国から集まった 250 名の研究者等が、原発事故によって被災した地域における除染活動及び緑を回復する方策について討議した。</p> <p>■ 5 月 31 日 (土) シンポジウム I (L4 教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「放射線の基礎と福島の現状」河津賢澄 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授)</li> <li>・「芝生地の保全と除染方法」水庭千鶴子 (東京農業大学地域環境科学造園科学科准教授)</li> <li>・「放射能汚染がどうして子どもたちに心理的ストレスを引き起こすのか？」筒井雄二 (福島大学際学心理研究所所長)</li> </ul> <p>■ 2014 年 6 月 1 日 (日) シンポジウム II (L4 教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯館村における震災被害からの復興」菅野典雄 (福島県飯館村村長)</li> <li>・「3 つの県営公園における芝生の除染と利用の回復」茂木浩 ((公財) 福島県都市公園・緑化協会)</li> <li>・「芝生が引き出す子どもの“元気”と“可能性”」橋口直幸 (NPO 法人こどもの森ネットワーク理事長)</li> <li>・「震災被害からのゴルフ場の復活」林重人 (福島県ゴルフ連盟 グランディ那須白河 GC グリーンキーパー)</li> </ul> <p>なお、「日本サッカー協会の復興支援活動と芝生化の取り組み」や「官民共同で取り組む福島県松川浦周辺の海岸防災林再生」等の研究発表も行われ、「今、芝生科学が社会に貢献できるものは何か? ~福島における芝生の復活と発展~」を今後の日本芝草学会の主要テーマとして取り上げていくことを確認し、学会としての今後の取り組みを発表し、閉幕した。</p>